

- 体重
- 疾患名（特定の疾患に向けた薬物療法実施時は目的とする疾患を記載）
- 処方薬
 - 医薬品名（一般的名称も記載すること）剤形も含んだ名称で記入している
 - 用法
 - 用量
- 処方薬の評価
 - 適切または不適切の旨（疾患に適切な選択か、処方量変更や処方提案が本報告の主点である場合、考察で詳細に記載している）
 - 適応外使用の場合は特に根拠を参考文献等で明確に記載している
 - 評価理由（簡潔に） 例：○剤の一般的小児薬用量は○mg/kg/day であり本処方は適切等
- 介入前の治療経過 時間の流れが分かる様に配慮している

2. 具体的な薬学的介入内容

- 薬学的介入をすべきと考えた理由（問題点など）
- 薬学的介入開始後の経過（以下の内容を適宜）
 - 検査データの推移、（検査値単位も記載）
 - 症状等の変化
- 指導内容
- 薬学的介入後の効果（以下の内容を適宜）
 - 症状等の改善
 - 処方変更内容・処方提案内容
 - 血中濃度

3. この事例に関する考察

- 処方薬、薬学的介入内容の科学的根拠に基づいた評価
- その他考察

4. 参考文献 文献の記載時は以下の項目を参考に記載

- 添付文書・インタビューフォーム（改訂年月日を記載している）
- サイト名と URL（インターネットから入手した情報の場合）
- ガイドライン、書籍等（編者、著者、書籍名、発行年、発行者、学会名など記載できている）
- 論文（著者、論文名、雑誌名、発行年月、頁記載）